

近江八幡市の水郷地帯に400年続く、ヨシ卸商「西川嘉右門商店」。17代目当主の西川嘉廣氏は大学教授の定年退職を機に、ヨシの保全に熱心だった父の意思を継ぎ、2001年（平成13年）「ヨシ博物館」を開設しました。「ヨシの文化」をテーマとして、数多くの文献や物品の見学のほか、ヨシの保全・研究活動についても紹介していただけます。



●所在地 近江八幡市円山町 188
TEL 0748-32-2177
FAX 0748-32-0570
E-mail —
ホームページ —

●利用時間 10:00～17:00
●定休日 不定休です。事前にお問い合わせください。
●料金 無料
●個人・団体対応
個人で見学できます。団体の場合は20名まで見学できます。

●アクセス
<公共交通機関>
JR 琵琶湖線「近江八幡駅」下車、近江鉄道バス「長明寺・国民休暇村」行き、「円山」下車、徒歩3分
<自動車>
名神高速道「竜王IC」より約20分
<駐車場無料>

●ヨシ博物館の地図はこちら
(外部のホームページへリンクします)



施設概要

●ヨシ博物館

「西川嘉右門商店」の敷地内にある土蔵を改修した博物館では、数多くのヨシに関わる文献のほか、ヨシを描いた絵画、焼物、海外のヨシ製品、家業で使われていた作業着や広告などが展示されています。



数千点ものヨシ製品や、ヨシに関連した製品が展示

すてきなヨシ工作ができます！



★団体の活動事例（約1～2時間）

- ①博物館見学
- ↓
- ②ヨシ笛のCD鑑賞
または工作(材料費のみ必要)
(ブーブー笛、花瓶、ミニ額等)

出前講座

ヨシの保全活動を中心とした環境問題、ラムサール条約やWWFに関する内容などを講座していただけます。

イベント

毎年4月(ヨ)4日(シ)は「ヨシ博物館記念日」として、琵琶湖博物館などでヨシ笛演奏会などのイベントが開催されます。詳細は「日本ヨシ笛協会」のホームページをご覧ください。

取材者 佐藤のおすすめ！

「これが博物館？」と思えるほど小さな施設ですが、西川館長の解説でヨシや環境保全に対する熱い想いを実感し、土蔵が宝箱のように思えました。見学には西川さんがいらっしゃることで、必ずご確認ください。
見学後、博物館前で揺れるヨシ原の趣深い景色を見て、改めて琵琶湖のヨシを守りたい！という気持ちが生まれました。

西川館長のひと言

定年後に父の意志を継ぎ、個人としての遊びで開館しましたが、今では全国からの来館に驚いています。と同時に、環境への関心の高まりに時代の流れを感じています。
同館の様々なヨシに関する資料が論文の材料となり、研究者が環境の仕事に携わるきっかけになっているのを見ると、ありがたく思います。ぜひ、情報収集の拠点としてご利用ください。